



①石川県珠洲市の地震被災地 ②佐賀でわくわく防災教室を開催 ③大雨の被災地で活躍した電動運搬車 ④家屋の片付けが進む福島県いわき市 ⑤物資の配布会の様子(いわき市)

— 奥能登地震 / 7月大雨 / 台風13号 —

度重なる災害を乗り越え、次に備える

今年もまた、度重なる自然災害が日本列島を襲いました。5月に石川県で発生した奥能登地震、7月には活発な梅雨前線の影響で九州北部をはじめ全国各地で線状降水帯が発生し、建物や農地などの浸水被害が相次ぎました。9月に発生した台風13号では、福島や茨城、千葉などで3,000棟以上の住居被害が報告されています。

発災から時間が経ち、被災した地域の生活は少しずつ落ち着いてきているように見えますが、目の前の復旧作業に精一杯の日々を乗り越え、少し気が抜けたときに心身の疲れが一気に出ることがあります。また、これから冬に向けて寒さ対策や年越しの準備も必要です。捜索救助や物資支援などCivic Forceの緊急支援活動は終了しましたが、引き続き被災した地域を訪問したりメールや電話で連絡をとったり、新たに必要とされる物資・サービスのニーズに対応しています。

今号のニュースレターでは、今年の災害と被災地での支援活動について振り返るとともに、近年、力を入れている防災・減災の取り組みについてご報告します。



佐賀県ふるさと納税受付中!

今年の災害支援の教訓を踏まえ、10月に佐賀県のふるさと納税の仕組みを活用したクラウドファンディングプロジェクトを立ち上げました。皆様のご支援が、被災地の助けになります。ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

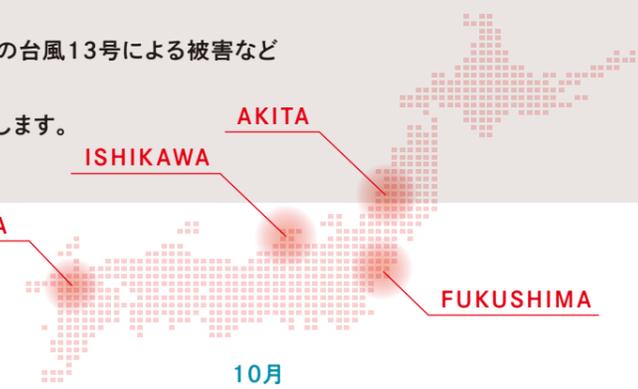
災害時の命を守るために

目標金額: 150万円
12/31(日)まで



<https://www.furusato-tax.jp/gcf/2609>

5月の奥能登地震にはじまり、7月の大雨、9月の台風13号による被害など今年も各地で災害が相次ぎました。これまでの支援と現在の活動についてご報告します。



5月 🏠 奥能登地震

7月 🌧️ 九州大雨 / 🌧️ 秋田大雨

9月 🌀 台風13号

🏠 石川・奥能登地震 ISHIKAWA

5月5日、石川県能登地方で震度6強を観測する地震があり、最北端の町、珠洲市(すずい)で多くの建物が被災。10月までに4,108件の罹災証明が申請され、住宅の解体や再建が進んでいます。Civic Forceは緊急支援活動と並行して、7月から「NPOパートナー協働事業」を開始し、被災地NGO協働センターと連携してコミュニティの衰退を防ぐ取り組みを続けています。



これまでに20軒の被災住宅を訪問。経済的な理由や多忙を極める大工や工務店に遠慮して未だ手付かずの家屋も

個別訪問や建物修復相談会を通じて生活再建を支える



発災後、余震が続き、さらに多くの建物の倒壊や雨漏りなどが予想されたため、建物の修復支援の視点で珠洲市に入りました。東日本大震災以後、公費による建物解体の適用が復活しましたが、近年の水害被災地では直せば使い続けられる建物が安易に解体されるケースが多発しています。私たちは、珠洲市で建物の修復技術の普及を図る建物修復支援ネットワークや珠洲市の地域包括支援センターなどと連携し、被災住宅の個別訪問や住まいの修復相談会などを通じて、専門家の知見や過去の被災事例など最適な情報提供を行っています。そして、被災した人々が暮らしの再建を諦めることなく歩んでいけるようサポートしています。

—— 被災地NGO協働センター代表 頼政良太さん

🌧️ 九州大雨

福岡県久留米市や佐賀県の被災地に対し、10月まで家屋の片付けや土砂出し、土のう積みの作業に必要な高圧洗浄機やダクト付送風機、タンクローリーなどを貸与しました。また、農地の復旧などが始まっている佐賀市や唐津市で、引き続き電動運搬車やポータブル電源などの資機材を貸し出しています。



土のうを運ぶのに電動運搬車が役立ちました!



被災した唐津市や佐賀市で、被災した家屋などの片付けや修復再建をサポートしています。事務作業に必要なテーブルや椅子、物資を保管するテントなどの資機材をCivic Forceさんからお借りし、中でも電動運搬車は傾斜地の多い現場での重い土のうや土砂、家屋の片付け時にとても助かりました。農地の復旧や被災者の生活再建はこれから本格化するため、これからも活動を継続します。

—— 佐賀災害支援プラットフォーム(SPF) 新中隆明さん

🌧️ 秋田大雨

7月大雨で土砂災害などの被害が出た秋田県では、県内13市町村に災害救助法が適用されました。Civic Forceは、被災した秋田市や五城目町(ごじょうめまち)などでいち早く住宅被害の調査を開始した宮城県NPO、オープンジャパンと連携し、被災した家屋などにサーキュレーター200台を貸与しました。

床下乾燥にサーキュレーターが大活躍!

秋田市で家屋の被害を調査し、水はげが悪い家の水の排出や見守りの活動を続けています。身体に障がいのある榎山地区のNさん(60代男性)は、自宅の床上が浸水してしまいましたが、猫を飼っていて常時窓や玄関を解放できない状況で、濡れた床下や壁などをサーキュレーターで乾燥させました。Nさんは「湿気に悩んでいましたが、乾燥が早く進んで再建の目処が立ち、あきらめていた自宅での生活もできるようになりました。たくさんの支援をありがとうございます」と話してくれました。

—— OPEN JAPAN 福地波宇郎さん



🌀 台風13号 FUKUSHIMA



北関東を中心に浸水や断水などの被害が相次ぎ、中でも福島県いわき市では、市内の住家のうち1,155棟が被災し、床上・床下浸水は1,261棟・481棟にのぼりました(9月28日現在)。Civic Forceは9月末と11月初旬、いわき市平窪地区を拠点に、地域のコミュニティスペースの運営などを行う一般社団法人Tecoを通じて、カセットコンロや衣料品などの支援物資をお届けしました。

物資を受け取り、泣いて喜ぶ方も

浸水がひどかった地区は1カ月以上経っても、台所が使えず「料理ができなくて困っている」という声を聞きました。Civic Forceさんにカセットコンロをお願いしたところ、衣料品などと一緒に届けてくれて、その後も継続して物資を届けてくださり助かりました。配布会で物資を受け取った方の中には泣いて喜ぶ人もいました。皆さんからのご支援、本当にありがとうございました。

—— Teco代表理事 小沼満貴さん

これまでに115件をマッチング GoodLinks

今年の災害支援では、Civic Forceが運営するオンラインマッチングプラットフォーム「Good Links」を通じた物資支援が実現しました。Good Links登録会員*は2023年9月末までに43団体、115件をマッチングし、ひとり親家庭や生活困窮家庭など約6,000人以上に支援をお届けしました。



*災害支援の分野で継続的に活動を行っている非営利団体がご利用いただけます。被災地で必要な物を登録する「リクエスト(ほしい物)登録」もご利用いただけます。詳しくは、事務局までお問い合わせください。gl@civic-force.org

7月大雨/台風13号 ご支援のお礼とご報告

大雨による被害が発生した7月から10月末までに、多くの皆様より**5,928,454円**(手数料・運営費15%含)のご寄付をお預かりし、支援活動に活用しました。たくさんのご支援、本当にありがとうございました!

AmazonのDisaster Relief Hub、 相模原で開設

神奈川県相模原市のアマゾンフルフィルメントセンター（FC）内に災害支援物資の保管拠点「Disaster Relief Hub」が開設され、Civic Force代表理事の根木佳織が9月28日の開設発表会に出席しました。



遺贈寄付セミナーを開催

10月20日、佐賀県佐賀市で遺贈寄付に関するセミナー「あなたの想いを佐賀の未来のために遺しませんか」を開催しました。



選手会ファンド

秋田で防災イベント

10月1日、秋田県大館市のニプロハチ公ドームで「みんなDE防災×キャッチボールクラシック」を開催し、100人以上の子どもたちが参加しました。



「たすかる一歩プロジェクト」登壇

日本プロ野球選手会主催の防災啓発シンポジウム「たすかる一歩プロジェクト」が9月28日、東京都内で開催され、Civic Forceの根木が登壇しました。

親子わくわく防災教室を開催

10月29日、佐賀県みやき町で親子わくわく防災教室を開催し、地域の親子など9世帯が参加。町の防災センターの見学、防災クイズ、防災食の試食などを行いました。



メディア情報

09.26 **新聞** 佐賀新聞

「シビックフォース 基山町に段ボール間仕切り贈呈 避難所のプライバシー確保に」

09.28 **新聞** 読売新聞 ほか多数

「Amazon、国内2拠点目となるDisaster Relief Hubを相模原市のAmazonフルフィルメントセンター内に開設」

09.28 **新聞** 日刊スポーツ

「プロ野球選手会が防災啓発イベント参加『選手たちが持つ“伝える力”使い発信』森忠仁事務局長」

11.10 **新聞** 秋田魁新報

「みんなDE防災×キャッチボールクラシック 東日本で初開催」

もっと気軽に社会貢献!

活動全般

バリューブックス「チャリボン」

charibon
by VALUE BOOKS

12月
キャンペーン
実施中

| エンパワー「買取大吉モノ募金」

| レジーナクリニック「SDGsプラン」

| ブリリアンスプラス「シークレットストーン」

ジュエリーで
寄付!

| ふるさと納税(佐賀県NPO支援)

| サンナップ(アスクル限定販売)

| 「フェーズフリー認証 紙コップ メジャーメント」

| 本棚お助け隊「古本チャリティ募金」

| ECナビ「スマイルプロジェクト」

| シーズン合同会社「チャリティーブランドBeMee」

東日本大震災

| Yahoo!ネット募金

寄付付き商品・サービスなど
様々な方法で
気軽にご支援いただけます!



1日33円からできること

次の大規模災害に向けて平時から備えておくために皆様の力が必要です。マンスリーサポーターとして毎月定額(1000円単位)のご寄付で支えてください(クレジットカードのみ)。また、団体活動全般へのご寄付は以下の口座で受け付けています。

● 銀行：三井住友銀行 青山支店 普通 6953964

● ゆうちょ：00140-6-361805

上記いずれも口座名義は
「シャ）シビックフォース」

● クレジットカード：HP「オンライン募金」より ▶



SNSで最新情報をお届けします

シビックフォース



ニュースレターのバックナンバーはこちら▶

<https://www.civic-force.org/news/newsletter/>

メールマガジン「被災地の今を知る」登録▶

<https://www.civic-force.org/mailmagazine/index.html>